



# 機能門柱FT

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明

- 警告** ・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。
- 注意** ・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

- 施工上のお願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)  
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## □ 施工の前に

### ▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### 施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工完了まで本体の養生シートは取り外さないでください。製品を取り出し持ち運ぶ際、携帯工具が当たりキズつく可能性があります。

## □ 施工上のご注意

### ▲ 注意



- 納まり図を確認し、本体高さが指定寸法以下になるようにしてください。
- ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。
  - ※ M4ねじ：2.5 N・m ± 0.5 N・m (25 ± 5 kgf・cm)
  - ※ M5ねじ：3.0 N・m ± 0.5 N・m (30 ± 5 kgf・cm)

## □ 施工上のご注意

つづき

### ▲ 注意



- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- 柱の水抜き穴をふさがしないでください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

### 施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

## □ 基礎工事について

### ▲ 注意

- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

### 施工上のお願い

- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## □ 電気配線工事について

### ▲ 警告

- LED照明は、DC12V以外では使用しないでください。過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電の原因になります。

### ▲ 注意

- AC100Vの電線の配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

### 施工上のお願い(照明付きサインを使用する場合)

- 明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を150mm以上あけてください。センサ部が暗くなるため、昼間でも点灯したり、消灯が遅くなる場合があります。
- 障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離が150mmとれない場合や近くに障害物がある場合は側面に明るさセンサを取り付けることが可能です。サインに同梱の取付説明書をご参照ください。

## □ 施工の後に

### 施工上のお願い

- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

# チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	ページ	チェック内容	
1	5	水抜き穴はふさがれていませんか?	<input type="checkbox"/>

# 梱包明細表

## 【1】機能門柱

名称	略図	員数			
		宅配付き		宅配なし	
		インターホン内蔵	インターホン露出	インターホン内蔵	インターホン露出
機能門柱FT		1	1	1	1
郵便シール ※2		1	1	1	1
宅配シール ※2		1	1	—	—
ネームシール ※1		1	1	1	1
錠操作シール(120×40) ※3		1	1	1	1
明るさセンサ用両面テープ ※4		1	1	1	1
【1a】 M4×10トラス小ねじ		—	2	—	2
【1b】 M4ナット		—	2	—	2
取付説明書<EXM161>	—	1	1	1	1
取扱説明書<EXM163> ※1	—	1	1	1	1

※1 ネームシール、取扱説明書はポスト内に入っています。

※2 郵便シール、宅配シールは取扱説明書に貼付けてあります。

※3 錠操作シール(120×40)は取扱説明書に同梱されています。

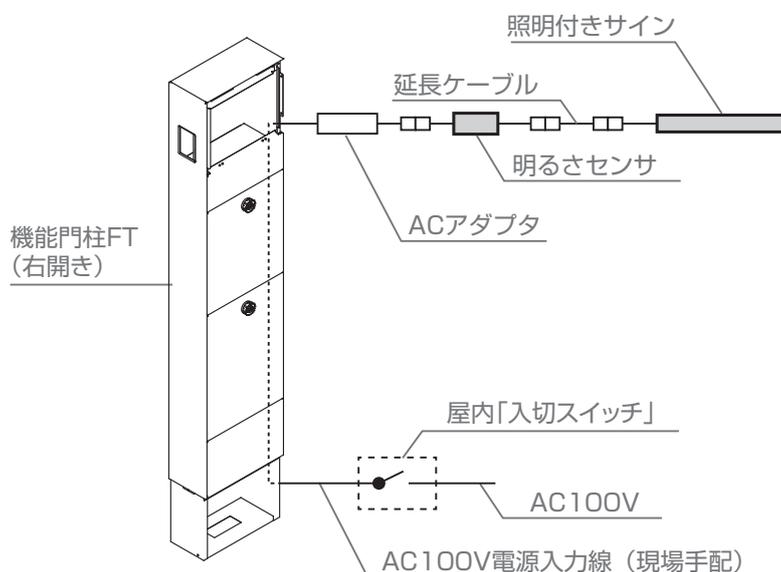
※4 明るさセンサ用両面テープは側面カバーを取り外した庫内に貼付けてあります。

※5 明るさセンサ用両面テープは明るさセンサ取付時のみに使用します。

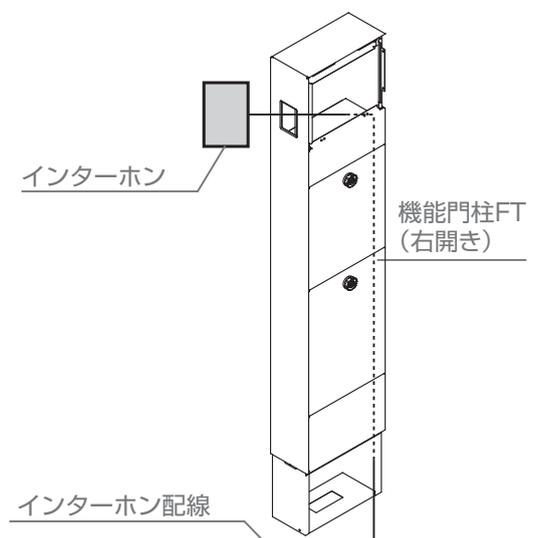
# 配線図

## 照明付きサインを使用する場合

※インターホン内蔵右開きを示します。  
 インターホン露出はインターホン用の切り欠きはありません。  
 左開きは対称になります。



## インターホン(オプション)

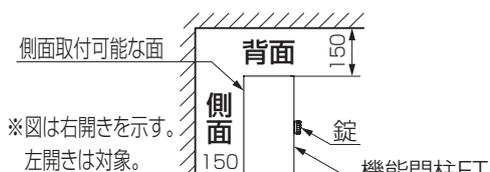


# 1 基本寸法と各部名称

## ■宅配ボックス付き 右開き インターホン内蔵用

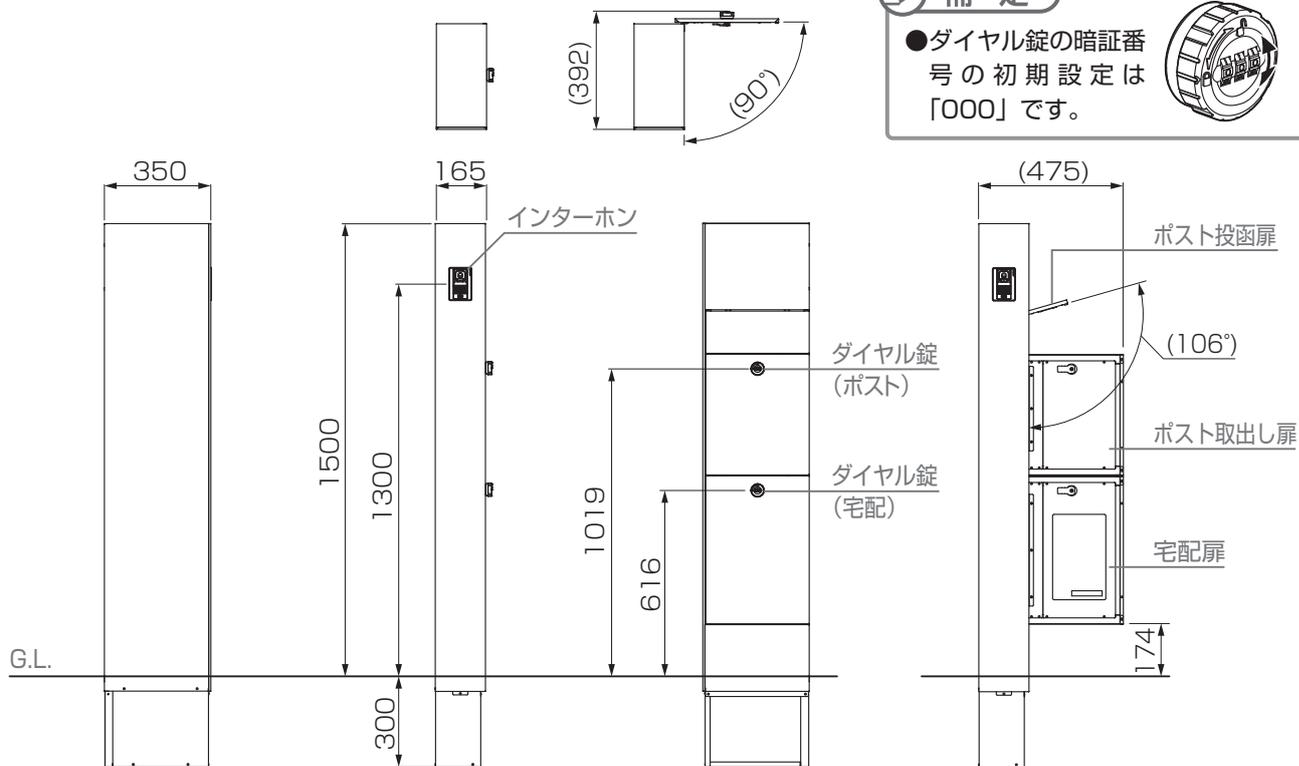
### 施工上のお願い

- 明るさセンサを取り付ける場合、背面もしくは側面に障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を150mm以上あげてください。
- ※宅配ボックスなしも同じ。



### 補足

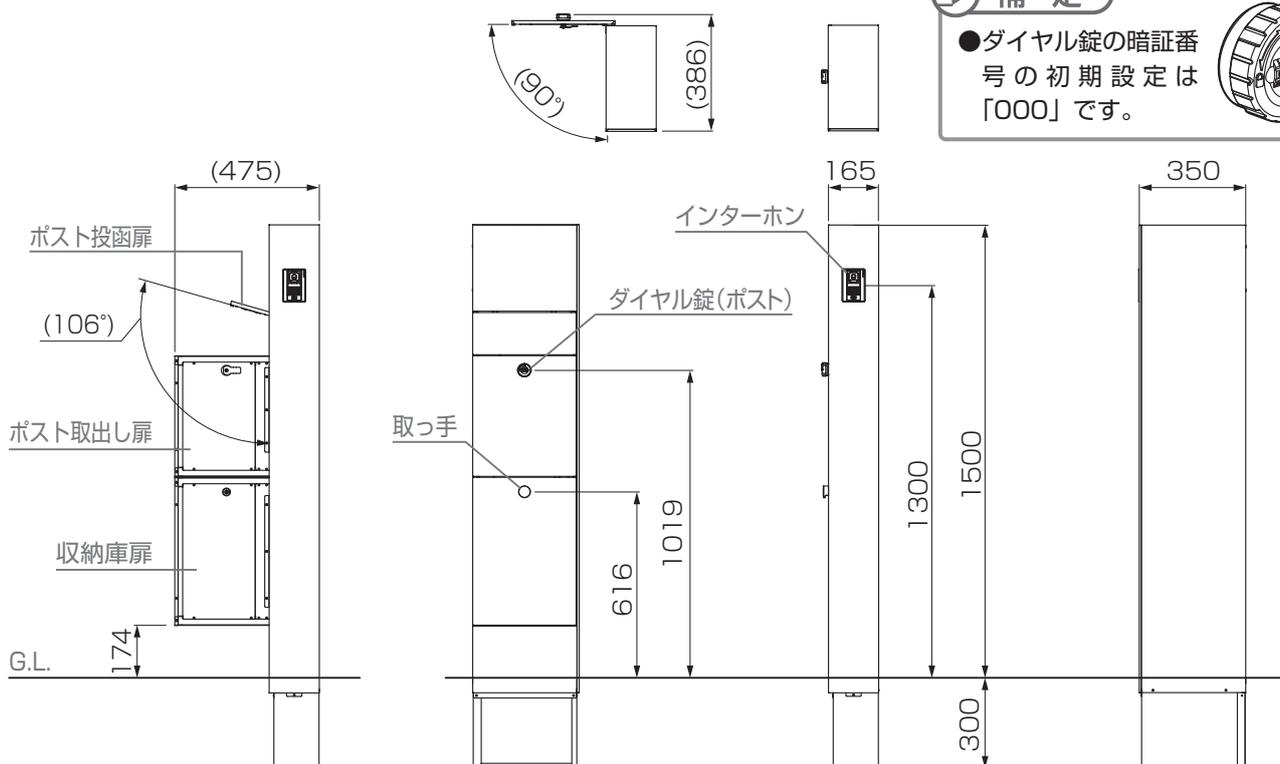
- ダイヤル錠の暗証番号の初期設定は「000」です。



## ■宅配ボックスなし 左開き インターホン内蔵用

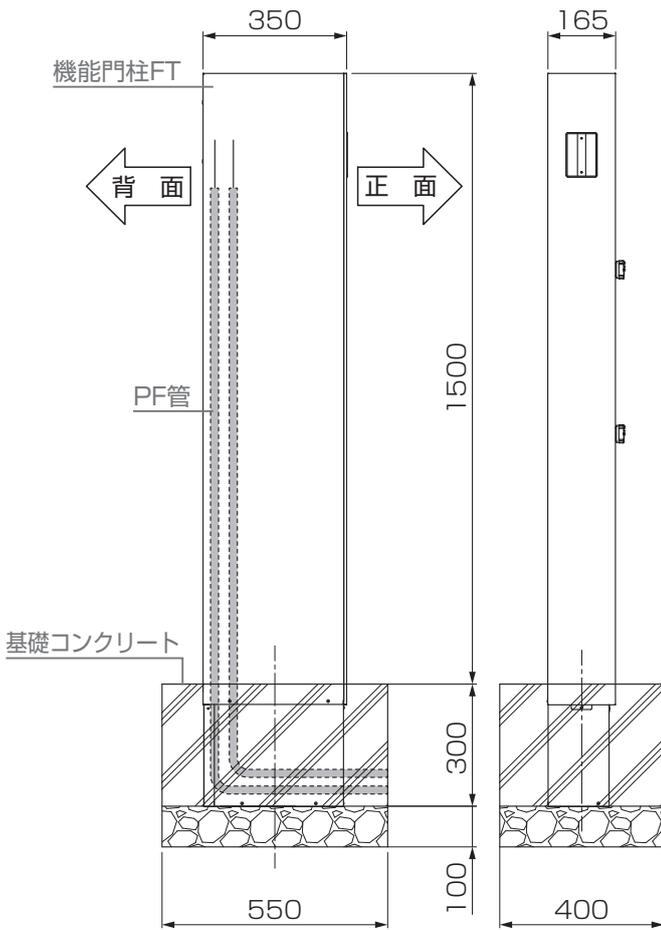
### 補足

- ダイヤル錠の暗証番号の初期設定は「000」です。



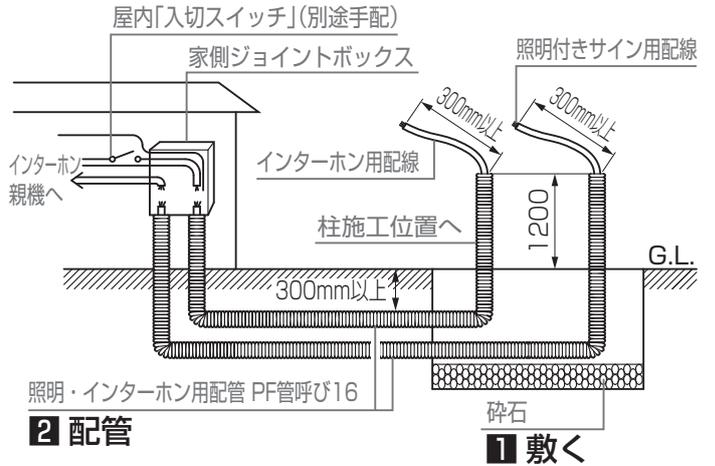
# 2 基礎寸法と配線工事

## 2-1 基礎寸法



## 2-2 配線工事

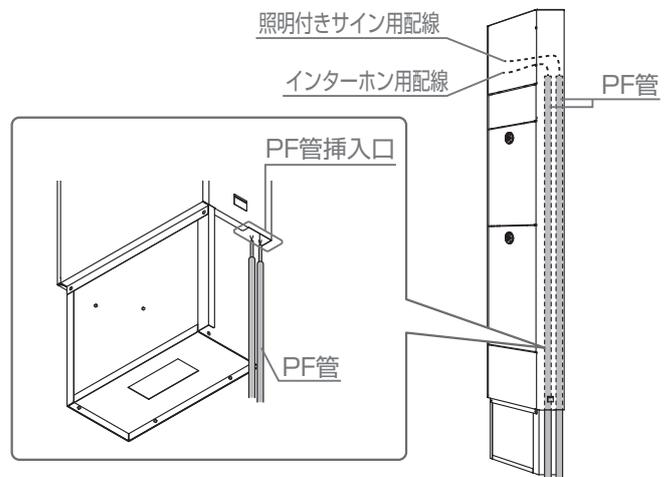
- 1: 基礎穴を掘り、碎石を敷く
- 2: インターホン用と照明付きサイン用の配線を配管



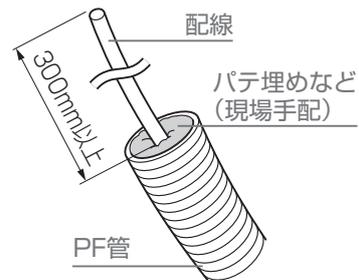
### 施工上のお願い

- 同一管で配線するとインターホンに雑音が発生することがあります。
- PF管はG.L.より1200mm程度立ち上げてください。
- PF管は、機能門柱背面側下部の挿入口から入れて、機能門柱の背面側を通してください。

※本図は右開きを示す。左開きは対称。



- インターホン信号線はPF管から300mm以上長くして、パテ埋めなどの処理を施してください。

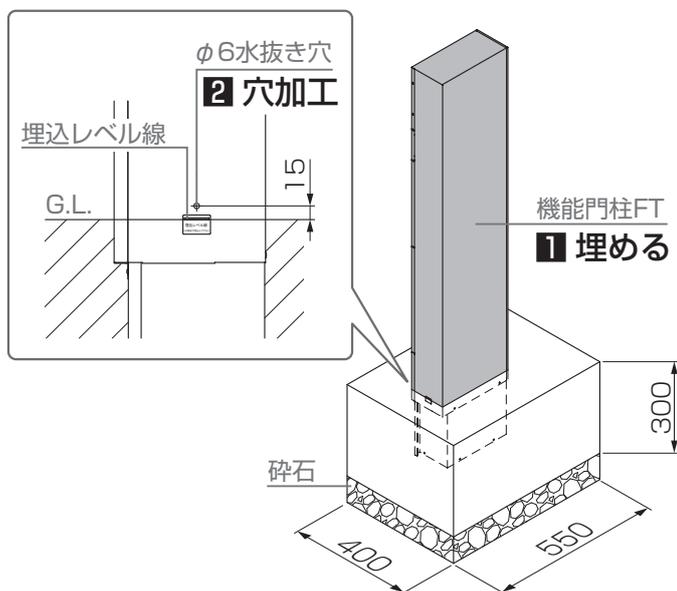


## 2 基礎寸法と配線工事

### 2-3 基礎工事

1: 基礎穴に機能門柱を垂直にたて、G.L.位置までコンクリートで埋める

2:  $\phi 6$ の水抜き穴加工



#### 注意

- 柱の水抜き穴はふさがないようにしてください。ふさいでしまうと柱内の水が凍結膨張し、破損するおそれがあります。

#### 施工上のお願い

- コンクリートが固まるまで、機能門柱が倒れないように添え木などをしてください。
- 水抜き穴は水こう配の水下側にあけてください。

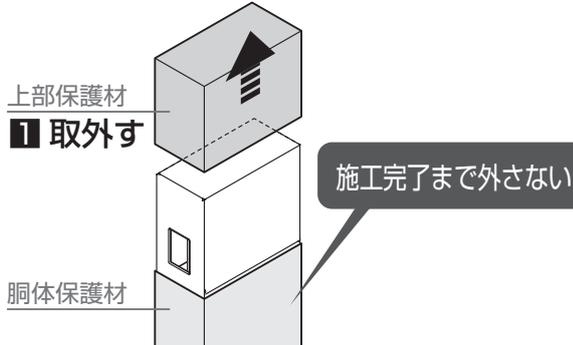
# 3 インターホンの取付け

## 3-1 インターホン内蔵仕様の場合の取付け

1: 製品上部の上部保護材を取外す

### 施工上のお願い

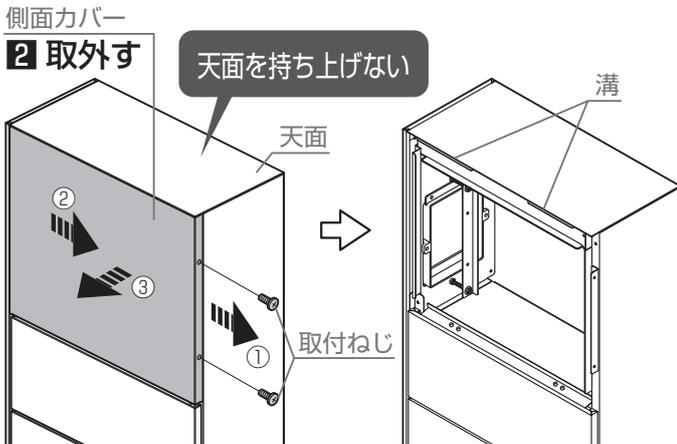
- 胴体保護材は施工が完了するまで外さないでください。  
※以降の図では胴体保護材の有無を省略しています。



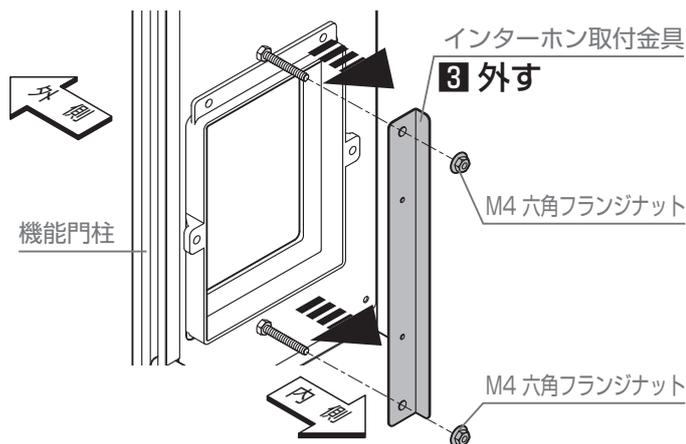
2: ①本体上部の取付ねじを取外す、②背面側方向にスライドする、③手前に引いて側面カバーを取外す

### 施工上のお願い

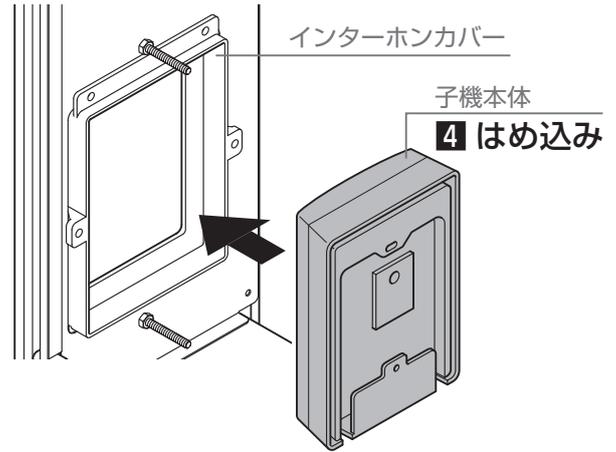
- 側面カバーのねじの取り外しおよび取付けは手動ドライバーを使用し、本体を支えながら行ってください。電動ドライバーを使用した場合や本体の支えが不十分な場合、ねじ頭の十字穴が潰れ、側面カバーの取り外しができなくなることがあります。
- 側面カバーの取り外しおよび取付けは本体天面に押し上げる方向の負荷をかけないように行ってください。天面は貼付けによる固定のため、強い負荷がかかると外れることがあります。



3: M4 六角フランジナットを取外し、インターホン取付金具を外す



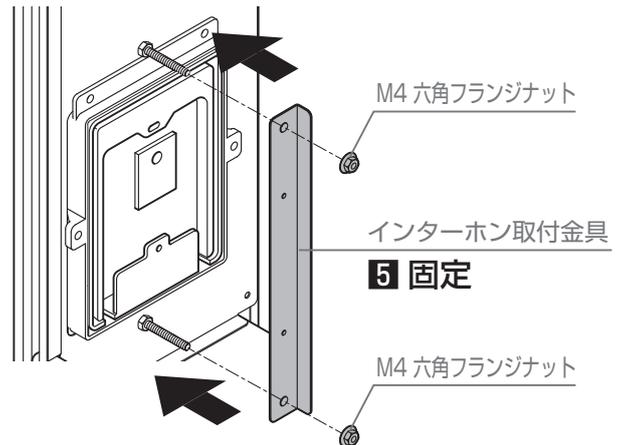
4: インターホンカバーに子機本体をはめ込み



### 施工上のお願い

- 取付けの際に配線を接続してください。
- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けは、インターホン子機の取付説明書を参照してください。

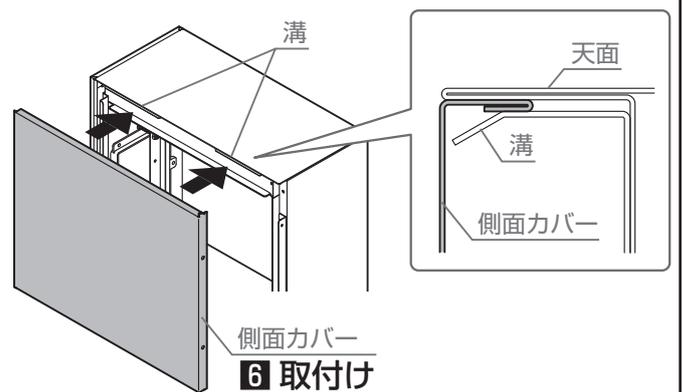
5: インターホン取付金具を子機本体にあて、3で取外したM4六角フランジナットで固定



6: 2で取外した側面カバーを溝にはめ込み固定し、2のねじで取付け

### 施工上のお願い

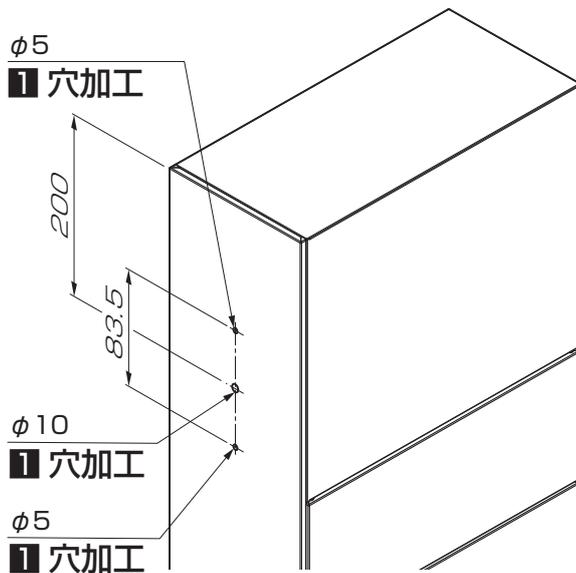
- インターホン取付金具を取り付ける際はM4六角フランジナットを締めすぎないようにしてください。前面パネルがたわむことがあります。
- 側面カバーは確実に本体の溝に差込んでください。溝に差し込めない場合は側面カバーが正常な位置に固定できません。



### 3 インターホンの取付け

#### 3-2 インターホン露出仕様の場合の取付け

1: 機能門柱の天面から200mmの位置に配線用の $\phi 10$ 穴と、インターホン取付け用の $\phi 5$ 穴加工

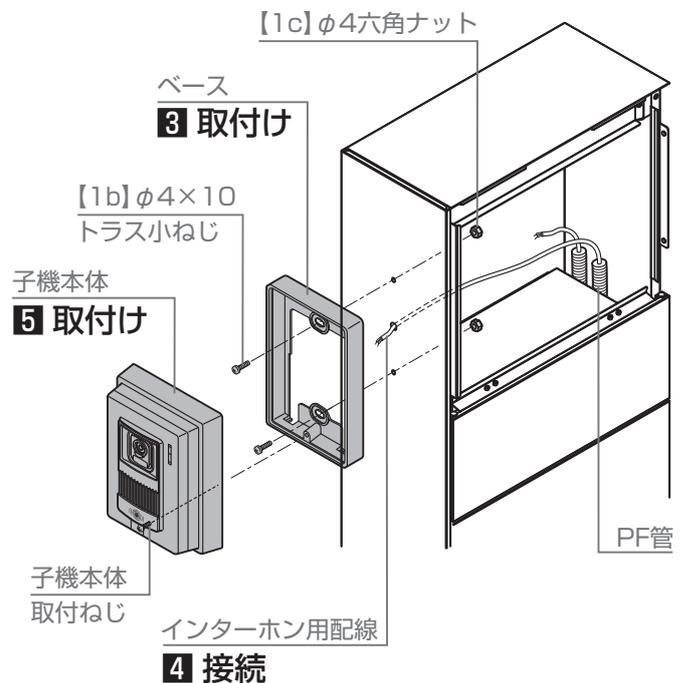


2: 「3-1」インターホン内蔵仕様の場合の取付け 手順1、2を参照して側面カバーを取外す

3: ベースを【1b】と【1c】で取付け

4: インターホン用配線の子機本体に接続

5: 子機本体をベースに取付け



#### 施工上のお願い

- インターホン取付け前にカメラ位置を調整してください。
- 配線の詳細およびインターホン子機の取付けは、インターホン子機の取付説明書を参照してください。

6: 2で取外した側面カバーを2のねじで取付け

## 4 サインの取付け

サインの取付けは、各サインに同梱の取付説明書を参照ください。